

2018年度事業報告書

自2018年4月1日 至2019年3月31日

特定非営利活動法人 スマイル オブ キッズ

1 事業活動方針

闘病中の子どもたちの基本的な権利が尊重され、最善の医療を受け日々の生活の質を向上させることができるよう、本人及び家族に精神的、物質的な支援をするとともに、闘病中の子どもたちの現状を広く社会に伝え、社会全体の子育て環境の改善に寄与した。

2 本年度重点項目

本年度は法人設立15周年、患者家族滞在施設「リラのいえ」開設10周年を迎えたため、記念事業を実施した。継続してきた患者家族滞在施設運営事業(①)、保育事業(③)、重症心身障がい児への音楽支援活動(④-ア)を重点項目として、更なる活動の充実を図った。

3 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 闘病児及び家族の支援施設の整備及び運営事業

支出額：12,355,815円

ア 患者家族滞在施設「リラのいえ」運営事業

内容： 闘病児及び家族の支援施設の整備及び運営事業。滞在施設を適正に運営し、法人の責任を保ち、最適な環境を提供した。開設10周年を機に原点に戻り、理念を再確認し利用者の立場に立ち運営した。利用者の50%は県外からで、常に小児がん治療で入院する子どもの家族が長期間利用されている。稼働率の推移は医療センターの病床率とも連動している。

運営期間： 通年

従事者： 約60名

対象者： 病児とその家族

場所： 横浜市南区「リラのいえ」

利用者数： 4,337名

平均稼働率： 79.6%

② 家族の交流の場の提供事業

支出額：773,639円

ア コンサートホールで生の音楽が聴くことのできない子どものための音楽会の開催

(公益財団法人神奈川心身障害児福祉基金財団夏季レクリエーション活動費助成事業)

内容： 神奈川県内の特別支援学校の児童・生徒・卒業生を中心とした、障害のある子どもと家族を招待した音楽会。開催継続10年目を迎えた。繰り返し参加いただくご家族も多く、夏休みの恒例行事となっている事が見受けられる。外部団体にプレゼント提供やプログラムの作成などをご協力をいただいた。

開催日： 8月11日～12日(3公演)

従事者： 45名

対象者： 障害のある子どもとその家族

場所： 横浜ラポールシアター

参加者： 重症心身障がい児95名、家族188名、一般12名、ボランティア45名、合計340名

イ バザー開催

内容： バザー開催による地域との交流・広報活動。リラのいえ10周年記念バザーと銘打ち、管弦合奏のミニ演奏会他様々なグループにご協力いただいた結果、来客者の滞在時間が伸びて大盛況となった。毎年開催する事で、地域・支援者の方から年間を通してバザー用品を提供して頂けるようになった。

開催日： 10月21日

従事者： 約30名

対象者： 近隣地域の方・支援者・一般市民

場所： 横浜市南区「リラのいえ」

利用参加者： 約200名

③ 保育事業

支出額：2,873,709円

ア きょうだい児保育事業

内容： 病児のきょうだい児を預かり保育し、精神的ストレスを発散・解消した。きょうだい児のケアだけでなく、闘病により不安や孤独を抱える親が安心して病児と向き合える環境、居場所作りにも取り組んだ。医療センター内のきょうだい預かりグループとの連絡会を発足することが出来た。

運営期間： 通年

従事者： 10名

対象者： 病児のきょうだい

場所： 横浜市南区「リラのいえ」

年間利用者： 454名

④難病の子ども達の課題を解決していくための支援事業**支出額：993,583円****ア 重症心身障がい児と家族への音楽支援**

内容： 重症心身障がい児及び家族に対する支援事業として、本人家族が楽しめる機会を提供するために、コンサートの出張事業を行った。事業開始初期段階と比べ、子どもの音楽に対する姿勢や表情に大きな変化が見られるようになった。静かな曲目にもじっと聴き入るようになり、明らかに音への関心が深まってきているのを医療スタッフ、家族も実感している。継続することの重要性を強く感じている。

日時： 12月3日・12月22日

従事者： 3名

対象者： 重症心身障がい児とその家族

場所： 訪問の家「朋」・神奈川県立こども医療センター重心施設

参加者： 約120名

イ チャリティーコンサートの開催

内容： 小児医療を取り巻く環境で必要な支援をアピールするためのコンサート。法人設立15周年、滞在施設開設10周年記念事業として開催した。

開催日： 7月8日

従事者： 28名

対象者： 一般市民

場所： はまぎんホールヴィアマーレ

参加者： 351名

⑤その他、本会の目的を達成するために必要な事業**支出額：1,492,788円****ア スマイルオブキッズ設立15周年・リラのいえ開設10周年広報強化事業【新】**

(よこはま ふれあい助成金 助成事業)

ア-1 記念式典の開催

内容： 法人設立15周年、滞在施設開設10周年を記念した式典を開催した。支援者や医療関係者等多数の参加があった。また、メディアで紹介された事により、寄付やボランティア活動希望についての問合せが多くあった。年間寄付金額と寄付件数の増加、活動への理解者・協力者の新規参画に繋がり、広報強化事業として十分な効果を得られた。

開催日： 5月27日

従事者： 約40名

対象者： 一般市民

場所： 神奈川県立こども医療センター講堂

参加者： 104名

ア-2 記念誌の発行

内容： 法人設立15周年、滞在施設開設10周年の軌跡を振り返る記念誌を発行した。各事業の受益者・協力者からの寄稿、活動写真等を掲載し、式典当日に参加者へ配布、全支援者へは郵送で配布した。その後、滞在施設への見学者も増え、記念誌を説明資料として有効活用している。

従事者： 約10名

対象者： 一般市民

イ 組織基盤強化事業

(PanasonicNP0サポートファンド 助成事業)

内容： 「新法人設立・業務分割に伴う組織マネジメントの課題整理と次世代に繋げて行くための組織基盤強化」をテーマとして、事業戦略の可視化、事務局を中心とした体制作り、内部の情報共有の強化等に取り組んだ。外部のコンサルタントによるスタッフへのヒアリング実施、相互交流を目的としたワークショップの開催により、法人の理念と方針を共有し、主体的に活動に参加する意識改革に繋がった。

従事者： 約80名